

名古屋大学大学院環境学研究科・教授公募要領

1	募 集 件 名	教授の公募	
2	所 属	大学院環境学研究科 都市環境学専攻 環境・安全マネジメント講座	
3	募 集 内 容	[職務内容（業務内容、担当科目等）] 環境学研究科が創設以来推進する持続性学と安全・安心学の発展と、地球規模課題の解決に向けた学術活動を、建築・都市環境学の視点から推進する。特に以下の3点に重点的に取り組む。 1) 研究：歴史文化を継承し、持続的で安全・安心な建築・都市の創出に貢献するため、歴史的な建造物や町並み、まちづくり等の評価や保存再生に関する研究に取り組み、その成果を国内外に発信する。 2) 教育：建築史を中心とした大学院と学部における教育及び研究指導を担う。 3) 社会連携・貢献：歴史的な建造物や町並み、まちづくり等の評価や保存再生に関する研究成果を基に、環境学研究科の理念に沿った社会連携・貢献を展開する。 <担当授業科目> 学 部：建築史に関連する講義・設計演習 大学院：建築史に関連する講義・設計演習・セミナー [勤務地] （雇入れ直後）愛知県名古屋市千種区 （変更の範囲）東海国立大学機構が指定する就業場所 [募集人員] 教授・1名 [着任時期] 2026年4月1日以降のできるだけ早い時期	
4	募 集 研 究 分 野	大分類	社会基盤
		小分類	建築史、意匠
5	勤 務 形 態	常勤 任期なし	
6	応 募 資 格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] 1) 博士の学位（または Ph.D.）を有すること。 2) 建築史に関する高度な学識と見識を有し、当該分野の大学院と学部における教育（設計教育を含む）及び研究指導（特に博士後期課程）を担当できること。 3) 環境学研究科が創設以来推進する持続性学と安全・安心学の発展と、地球規模課題の解決に向けた学術活動の内、歴史的な建造物や町並み、まちづくり等の評価や保存再生に関する研究を行い、その成果を国内外に発信ができること。 4) 上記3)の研究成果を基に、研究成果の社会還元を推進し、また環境学研究科の社会連携プロジェクトに参画できること。よって、国や自治体の歴史的建造物や町並み、まちづくり等に関する委員経験や文化財登録に係る所見作成等を担当した経験があることが望ましい。 5) 日本語及び英語で教育や研究指導等を担当できる能力を有すること。 6) 留学経験や、海外とのプロジェクトへの参画、国際会議の運営等の経験を有す	

		ることが望ましい。
7	待 遇	[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）] ・東海国立大学機構名古屋大学職員就業規則の定めるところによる。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm ・給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程において定める年俸制とする。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110001585.htm
8	応 募 期 間	2025 年 7 月 10 日 ～ 2025 年 9 月 3 日午後 5 時（日本時間）必着
9	応 募 ・ 選 考 結 果 通 知 連 絡 先	[応募方法（提出書類の送付先）] A. 応募書類 1) 履歴書^注（学歴、職歴、賞罰、学会における活動、社会における活動） 2) 業績リスト^注（査読論文、その他論文、講演・口頭発表等、書籍等出版物、受賞歴、競争的資金等の研究課題、特許、指導歴・担当経験のある科目、委員歴、その他（社会貢献項目等）。論文等の書誌情報はそれぞれ過不足なく記載すること。また、指導経験として博士前期及び後期課程の修了者（主査及び副査）がいれば、指導歴の欄に記載すること。） 3) 人物・業績照会者（名古屋大学在籍者を除く）2 名の連絡先 4) 主要な原著論文 5 編 5) 研究実績と抱負（2,000 字程度） 6) 教育実績と抱負（2,000 字程度） 7) 社会連携・貢献に関する実績と抱負（2,000 字程度） 8) 特定類型該当性の自己申告書（下記 10.その他を参照） 注）上記 1)の履歴書と、2)の業績リストについては、名古屋大学が定める所定の様式で作成し、必要に応じて参考資料等を別途用意し、提出すること。また、文化財登録における所見作成や歴史的環境の整備プロジェクト等、社会連携・貢献の業績については、様式の「その他（社会貢献項目等）」に記載すること。その際、各業績における応募者の役割（代表、分担等）を明記すること。なお、この様式は次の URL より入手できる。 http://www.env.nagoya-u.ac.jp/jobs/index.html B. 応募書類の提出方法 以上の書類を 1 つの pdf ファイルにまとめ、ファイル名を応募者氏名として、応募期間内に下記にアップロードし、同時に応募確認の電子メールを送付すること。応募書類受領後に電子メールを返信するので、返信がない場合は次項「10.その他」に示す問合先まで連絡すること。 応募アップロード先：https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/3KLERwnf48FasFp 確認メール送付先 ：saito.teruyuki.a6(at)f.mail.nagoya-u.ac.jp ※(at)を@に変更して送信してください。 確認メール件名 ：教員応募確認（〇〇〇〇） （〇〇〇〇は応募者氏名） [選考内容（選考方法、採否の決定）] ・書類審査の後、面接・プレゼンテーションを実施。面接・プレゼンテーションは

		2025 年 9 月 27 日・28 日、10 月 4 日・5 日のいずれかで実施予定。 ・面接実施、選考結果については電子メールで通知する。
10	そ の 他	・本講座は環境学研究科都市環境学専攻建築学コース及び工学部環境土木・建築学科、全学教育を担当します。 ・本学は、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下の URL をご覧ください。 ・ジェンダーダイバーシティセンターWeb サイト : https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ・ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&ビロング(Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB) 推進宣言 : https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html ・本学は、業績（研究、教育、社会連携・貢献、人物を含む）の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ・出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。 ・2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員の機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、教職員として本学に応募される際、「類型該当性判断のフローチャート」に基づく「特定類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。特定類型該当性の自己申告書は以下からダウンロードしてください。 https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/b5nwSSMJZQBx9BP ・提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 ・応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。 ・面接に要する交通費は支給しません。 ・問合先 〒464-8603 愛知県名古屋市千種区不老町 名古屋大学 ES 総合館 517 室 名古屋大学大学院環境学研究科 都市環境学専攻 建築学系長 齋藤輝幸 電話：052-789-5240 電子メール：saito(at)nuac.nagoya-u.ac.jp ※(at)を@に変更して送信してください。